



研究部だより

研究主題

学びたい気持ちを高め、夢中になって取り組む姿を目指した授業づくり
ーキャリア・パスポート「未来へのスケッチ」の活用を通してー

令和6年12月発行 NO. 16

高等部 全校授業研究会実施

高等部1年生活単元学習で全校授業研究会が行われました。今回も県外からのオンデマンド参加者を中心に30名の参加がありました。当日の全校授業研究会の様子についてお伝えします。

高等部1年生活単元学習

<未来へのスケッチ×授業づくりのつながり>

「未来へのスケッチ」の作成にあたり、卒業後の目指す姿を聞き取ると、保育士や介護士などの具体的な職業を挙げる生徒や、「優しい人になりたい」「頼られる人になりたい」という思いを伝える生徒がいた。このような生徒の思いに焦点を当て、身近な人の役に立ち、感謝される経験を通して、生徒一人一人がやりがいを感じて活動に参加したり、相手を思いやる気持ちを育んだりすることを目指し「お役に立ち隊プロジェクト」という単元を設定した。



<授業者のしかけ>

実態に応じたワークシートの活用

～意見や感想をもち、自分の言葉でまとめる姿を目指して～

(クイズ) グループの発表について

①発表はどのくらい楽しかったですか？1から5の中から気持ちに合うものを選びましょう。

とても楽しかった	楽しかった	つまらなかった
5	4	3
2	1	

②どんなところが楽しかった(つまらなかった)ですか？

5 クイズが楽しい。



<生徒の様子>

・生徒の実態に応じてワークシートを2種類準備し、一人一人が自分の言葉で意見を記入できるようにした。グループでの話し合い活動の前に意見をまとめることができたことで、グループのリーダーを中心に活発に意見交換する姿が見られた。

(クイズ) グループの発表について

よかった点	改善点 (発表をもっと楽しくする工夫)
ハキハキと話していたのでよかったです	もっとわかるクイズを出した方がいいと思う 全員が盛り上がるまで続けるのがいい



<授業者のしかけ>

話し合い活動場面のグルーピングの工夫

～生徒が主体的に参加し、話し合いを進める姿を目指して～

<生徒の様子>

・発表を見た意見や感想をワークシートにまとめた後、3つのグループに分かれて話し合い活動をした。大きな集団の中では自分の考えを伝えることが難しい生徒が積極的に発言したり、友達の意見に耳を傾けたりする姿が見られた。また、友達の意見を引き出したり、まとめたりすることをねらう生徒を各グループに配置したことで、教師の支援を減らし、生徒たちが自主的に話し合いを進めることにつながった。



<授業者のしかけ>

「キーワード」でまとめる

～話し合いを深めるために～

<生徒の様子>

・グループで出た意見を「キーワード」という形でまとめ、他のグループの提案する活動を設定した。「よかった点」「改善点」について出た意見を箇条書きするのではなく、自分の意見と友達の意見の共通点や違いに気付いたり、具体的な意見になるように言葉を付け加えたりしながら、グループとしての意見をまとめようとする姿を引き出すことができた。

ダンスグループの発表について

話し合いメモ	キーワード
<p><よかったところ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いがスムーズに進んだ。 ・みんな笑顔で話していた。 ・曲に合わせて動いていた。 ・おもしろいダンスがあった。 ・おもしろい衣装があった。 <p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの音楽がもう少し遅くてもいい。 ・歌詞がもう少しわかりやすいとよかった。 ・衣装ももっと個性を出すとよかった。 ・ダンスの振り付けももっとおもしろい。 ・ダンスの衣装ももっとおもしろい。 	<p>振りつけが良かった</p> <p>楽しかった</p> <p>重なりを合わせる</p> <p>アビール</p>



